

I Love Churui
I ❤ ちゅうるい



長いも生産委員会は11月1日より長いもの収穫を開始しました。

Contents

農協法公布記念日にあたって	2
菜の館ベジタ閉店イベント開催	3
とかち大収穫市うまいもん祭り	
令和元年度農事組合長視察研修	4
令和元年度役員視察研修	6
第10回理事会	7
第24回忠類どんとこいむら祭り	
管理部職員紹介	8
J Aグループ通信	9
普及センター技術情報	10
生乳生産状況表	11



<http://www.ja-churui.com>

10・11
2019 Vol. 527

JA忠類 | Vol.527 | 令和元年11月発行

■発行 忠類農業協同組合 営農部経営課

■印刷(株)トリムシステム



～なくそう死亡事故 ふせごう負傷事故～

⚠ 基本動作の徹底を忘れずに!

⚠ 先入観にはとらわれない!

⚠ 危険に気付いたら速やかに改善!

リスク低減・現場改善
のヒントはこれらから
農作業事故事例サイト 検索

<http://www.naroaffrc.go.jp/org/brain/anzenweb/chousadb/chousadb.html>



北海道農作業安全運動推進本部



北海道 JA北海道中央会 JA北海道信連 ホクレン JA共済連 JA北海道厚生連 北海道NOSAI
北海道農業公社 北海道農業機械工業会 北海道クボタ オセキ北海道 ヤンマー/アグリジャパン
三菱農機販売 日本ニューホランド エム・エス・ケー農業機械 北海道農機商業協同組合

北海道農作業安全運動推進本部ホームページ <https://agr-anzen.jimdo.com/>





喜んで頂けた事と思います。生産者さんのご努力のおかげで夏頃には多くの野菜が出荷され、年に数回開催したイベントでも多くのお客様にご来店頂きました。

平成十九年にオープンし、今年で十二年を迎えた「菜の館ベジタ」ですが、地元の方をはじめ、近隣市町村やキャンプ等に訪れた遠方からのお客様にも立ち寄つていただける店になり、地域に根付いた直売所となってきたように思います。

J A 忠類農畜産物直売所「菜の館ベジタ」の今年度の営業が、令和元年十一月十日（日）をもちまして終了となりました。

最終日には、店舗駐車場でキッズカーニングなどがタピオカドリンクやオムライス、たこ焼き、焼きそばを販売した他、地元産の野菜をふんだんに使った豚汁を来場者へ振る舞いました。また、「乳製品消費キャンペーン」として牛乳の無料配付も行い、多くのお客様に



今年度の営業が終了いたしましたJA忠類農畜産物直売所「菜の館ベジタ」

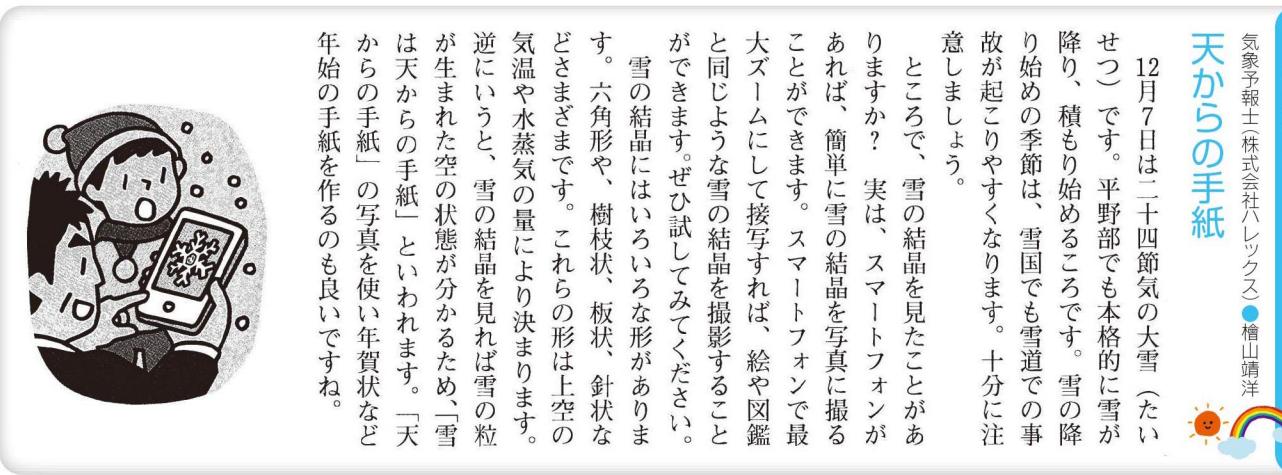


第25回とかち大収穫市 うまいもん祭り

十一月十四日から十九日の日程で藤丸にて第二十五回とかち大収穫市うまいもんまつりが開催されました。

本年度は十勝18市町村の特産品が一堂に集まり、十勝管内の魅力溢れる農産物をはじめ、様々な十勝の人気商品が並びました。

忠類ブースではゆり根と長いもの販売をし、沢山のお客様にご来場頂きました。



お天気カレンダー

気象予報士（株式会社ハレックス・檜山靖洋）

天からの手紙

12月7日は二十四節気の大雪（たいせつ）です。平野部でも本格的に雪が降り、積もり始めるころです。雪の降り始めの季節は、雪国でも雪道での事故が起こりやすくなります。十分に注意しましょう。

ところで、雪の結晶を見たことがありますか？ 実は、スマートフォンがあれば、簡単に雪の結晶を写真に撮ることができます。スマートフォンで大ズームにして接写すれば、絵や図鑑と同じような雪の結晶を見れば雪の粒ができます。ぜひ試してみてください。

雪の結晶にはいろいろな形があります。六角形や、樹枝状、板状、針状などさまざまです。これらの形は上空の気温や水蒸気の量により決まります。逆にいって、雪の結晶を見れば雪の粒が生まれた空の状態が分かるため、「雪は天からの手紙」といわれます。「天からの手紙」の写真を使い年賀状など年始の手紙を作るのも良いですね。

農協法公布記念日にあたって

北海道農業協同組合中央会
会長 飛田 総章



本年九月三十日、本会は平成二十七年の農協法改正に伴い法律上の位置付けを連合会に移行しましたが、名称は変更されず、事業としても会員の相談、監査、意見の代表、総合調整が規定されているため、今後も引き続き、中央会が果たすべき基本的な機能であるJAグループの結集軸として、持続可能な北海道農業の確立、農業者の営農と経営の安定、それを支えるJAをサポートして参りますので引き続きご支援、ご鞭撻の程宜しくお願ひ申し上げます。

さて、昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が公布され、今年で72年を迎えました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、農業生产力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を

図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、今日に至っています。

総合事業を開拓しながら安全・安心な農畜産物の生産と、豊かな生活に役立つ購買品の供給、地域の豊かな暮らしと経済活動のために寄与する信用事業、総合的な暮らしの保障のための共済事業、健康な日常生活を営むための医療・福祉事業のほか、環境問題や子供の貧困問題などへの取組み等、地域社会に貢献するための様々な社会的取組みも行なわれております。

また、昨年の北海道胆振東部地震のように大規模災害が発生した際には、組合員・JA・連合会等の間ににおける農業機械・発電機等の融通や、被災地への人的・物的支援、被災地農産物の選果受入、協同組合による募金活動など、組織内・外を問わない助け合いの精神による支援活動・行動によって、被災地域の復旧・

復興支援に大きな役割を果たしているところです。このように協同組合は社会と地域の人々の暮らしのために、永年に亘つて多くの分野でその役割を發揮してきています。そのような中、「協同組合の思想と実践」がユネスコ無形文化遺産に登録され、更に昨年4月には、我が国の農協、漁協、生協、労働金庫、森林組合等の協同組合が、協同組合間の連携によつて力を結集し、地域課題の解決を目的として日本協同組合連携機構（JCA）が発足したところです。

昨年開催した第29回JA北海道大会では、前回大会で設定した将来ビジョンである「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の実現」を継承し、「農業所得の増大と、多様な担い手の確保・育成」と「次代につなげる協同組合の価値と実践」に向けて、JAグループが一体となつて取組むこととしております。

JAに集う組合員、役職員の皆様は、競争ではなく共生の社会を創り出す社会システムの一つとして世界的に評価され、その価値と役割を高め始めている協同組合の仲間であることを誇りとするものと確信しております。

最後になりますが、JAグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様が夢と希望を持ったて営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げ、農協法公布記念日にあたつてのメッセージと致します。



平成三十一年度農事組合長会視察研修を実施

十月二十四日～二十五日の一泊二日の日程でJ.A.姥原組合長、農事組合長（下川暢宏会長）七名で管外視察研修を実施した。

初日は、札幌市内にある「よつ葉乳業株式会社本社」にて、「最近の酪農情勢及び生乳の需給動向について」管理統括部総務広報グループ部長の東原氏より説明を頂いた。

過去二十年間で、全国の生乳生産量は15%程度減少しており、北海道は伸長しているが、都府県が大きく減少している。

また酪農家戸数は、生乳生産量以上に減少している一方、酪農家一戸あたりの経産牛頭数や経産牛一頭あたりの乳量は増加している。これは、酪農家の大規模化が進んでいることが大きな要因となる。



「エム・エス・ケー農業機械株式会社本社」にて、「最先端技術の農業機械の視察」ということで『AGCOMMA ND（アグコマンド）』というシステムについてサービス本部技術部サービスチームリーダーの鈴木氏より説明を頂いた。

このシステムは、トラクター等にGPSを取り付けることでグーグルマップに反映させ、詳細な位置だけではなく、トラクターの稼働状況や作業内容によるエンジン回転数・PTO出力の表示、データーとのやり取りはもちろんのこと、機械のトラブルによる停車時間の短縮や修理対応の効率化を目的として全国展開を開を検討しているとのこと。

忠類のコンタクターの堆肥散布で稼働しているトラクターにアグコマンドを試験的

に取り付けており、実際のシステムの運用を拝見することができた。

このようなシステムを導入することにより、時間短縮等による人件費の削減等にもつながることを期待したい。

商品倉庫には、トラクターや作業機械が未組みの状態で格納されており、大半は販売先が決まっている。

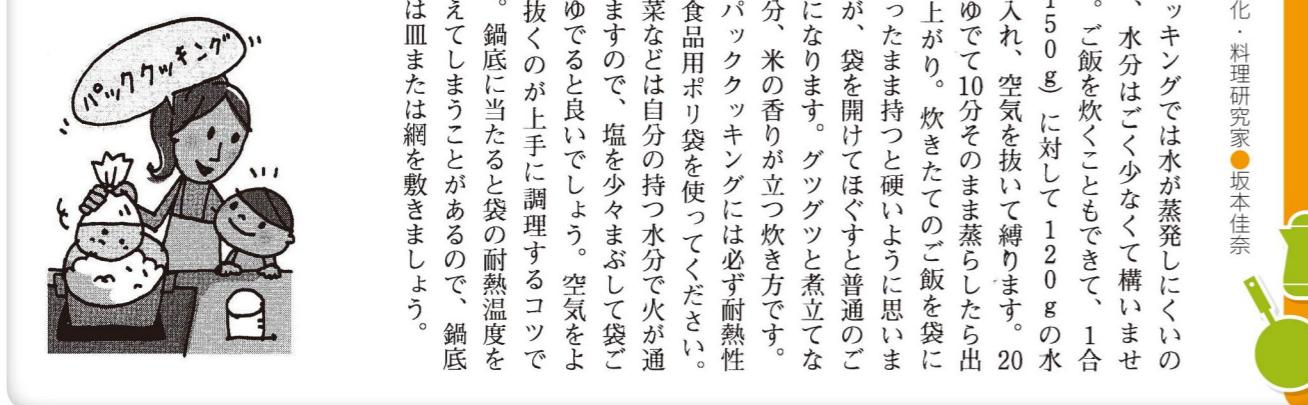
以上、研修期間中大きなトラブルもなく、参加者同士の懇談も含め有意義な研修になつた。

パッククッキング

透明または半透明のプラスチックの袋のことを、ビニール袋とか、ポリ袋とか、ナイロン袋といいます。ポリ袋の材料には、ポリエチレン、ポリプロピレン、そしてビニール袋の語源となつたポリ塩化ビニール、ナイロンなどがあります。このうちポリ塩化ビニールは燃やしたときにはダイオキシン類が発生することがあります。一般的家庭用では使われなくなりました。

現在はほとんどがポリエチレンかポリプロピレンで、そのうち家庭でなじみが深いのはポリエチレンです。大きく分けて高密度と低密度の2種類があります。低密度は透明で柔らかい物で、耐熱温度は低く70度から90度程度、調理には向きません。柔密度は半透明でカサカサしています。耐熱温度が90度から110度程度です。ポリ袋に入れたまま加熱したいときには、耐熱性の高密度ポリエチレン袋がお勧めです。

ポリ袋を使って行う調理は「パッククッキング」と呼ばれ、袋の中に調理したい食材を入れて熱湯でゆでます。水が直接食べ物に触れないのです。きれいな水が手に入りにくい災害時にも活躍しそうです。パック



等の事態が現実に発生しているため、北海道の酪農は全国の消費者にとつて大きな支えとなつていることを実感することができた。

次に、「北海道警察本部」を受理している「通信指令室」の様子や、信号機の管理・制御を行つており、交通情報の分析・情報提供システムを構築している「交通管制センター」を拝見することができた。

二日目は、千歳市内にある「北海道キッコーマン株式会社千歳工場」にて、工場見学を行つた。



「醤油」の歴史や製造ラインを見学させて頂いた。醤油の原料である小麦は100%国産を使用しているが、安定した製品を作る上で大豆はたんぱく質の量が重要なことから、輸入大豆を使用する年もある。

また、この工場から出た「醤油粕」が、忠類の酪農家でも牛の飼料として供給されている。

最後に、恵庭市内にある「北海道キッコーマン株式会社千歳工場」にて、工場見学を行つた。





JAグループ通信

JAGループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。



JA北海道中央会



北海道農業協同組合中央会は平成27年の農協法改正により、令和元年9月30日をもって法律上の位置付けを、農業協同組合連合会に移行しました。改正法では、名称は変更しないことが認められ、事業としては会員の相談、監査、意見の代表、総合調整が規定されており、法律上の位置付けは変わるもの、中央会が果たすべき基本的な機能は変わらないと認識しております。

組織変更に伴い、9月30日に本会役員に対して飛田会長より訓示を致しました。訓示の内容については、「JA北海道中央会」のYoutTubeチャンネルよりご覧いただけます。

今後も引き続き、JAグループの結集軸として、持続可能な北海道農業の確立、農業者の営農と経営の安定、それを支えるJAをサポートする役割をしっかりと参ります。

子ども達に仕事の大変さや楽しさ、そして金融の大切さを伝える機会を提供することができました。

その後も引き続き、JAグループの結集軸として、持続可能な北海道農業の確立、農業者の営農と経営の安定、それを支えるJAをサポートする役割をしっかりと参ります。

JA北海道信連



JA共済連北海道は、平成20年より地域貢献活動の一環として、交通安全啓発運動を北海道警察本部と連携し「旗の波運動」として取組んでいます。街頭で小旗等を振り、ドライバーに交通安全を呼びかけ、交通事故の撲滅、および交通安全意識の向上を目的に実施しております。今年度も札幌地区では9月27日に約50名で共済ビル前の街頭で実施しドライバー・歩行者へ交通安全を呼びかけました。

GAP（農業生産工程管理）の推進に向け、ホクレンは、農場評価の演習を盛り込んだ実践研修会を8月26～27日に札幌市内の学校法人・八紘学園北海道農業専門学校を会場に開催しました。参加者は道央圏のJA担当者・連合会職員など約10名で、日本生産者GAP協会の田上隆多事務局長を講師とし、農場評価制度の基本学習や会場となつた同校農場にて実際の調査を演習しました。参加者の各組織での今後のGAP推進に期待しています。



ホクレン



JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るために、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。紙面をリニューアルし、より読みやすくさらに健康に役立つ医療・健康情報を発信しております。10月発行分にはプレゼン付きアンケートもございますので是非応募にもチャレンジしてみてください。

幕別町新規就農者認定証授与式



出席された来賓の方と記念撮影
今年は幌内農事組合 野坂幸市さ

この授与式は、幕別町にて新規就農を目指す方が、幕別町農業公社の事業となる「まくべつ農村アカデミーフロンティアコース」へ入校。研修期間二年～三年の研修を優秀な成績で終了された方に認定証を授与し、農業人としての門出を祝う催しです。

十月二十七日、ナウマン温泉アルコ236にて令和元年幕別町新規就農者認定証授与式が開催されました。

この授与式は、幕別町にて新規就農を目指す方が、幕別町農業公社の事業となる「まくべつ農村アカデミーフロンティアコース」へ入校。研修期間二年～三年の研修を優秀な成績で終了された方に認定証を授与し、農業人としての門出を祝う催しです。



認定証を受け取る井上さん

この授与式は、幕別町長 飯田晴義氏より認定証を授与、主催者として挨拶後、認定証を受け取られた井上さんより、謝辞と今後の當農生により昼食会が行われ、忠類農協山内参事の締めの挨拶により閉会致しました。

その後、来賓として出席された十勝農業改良普及センター十勝南部支所宮部支所長の乾杯の発生により昼食会が行われ、忠類農協山内参事の締めの挨拶により閉会致しました。



井上 洋平さん

井上さんは野坂幸市さんの農場にて実習をし、今年の4月に新生地区で新規就農をしました。
主な生産物はゆり根となります。

先月号に引き続き今月は管理部を紹介させていただきます。

職員紹介(管理部)

管理部 内部監査室



前列左から

山内 信博（参事兼務理事）

山根 芳博（管理部長兼内部監査室長）

後列左から

高野 好子（出納担当）

古川こずえ（経理担当）

坂本 浩美（管理課長）

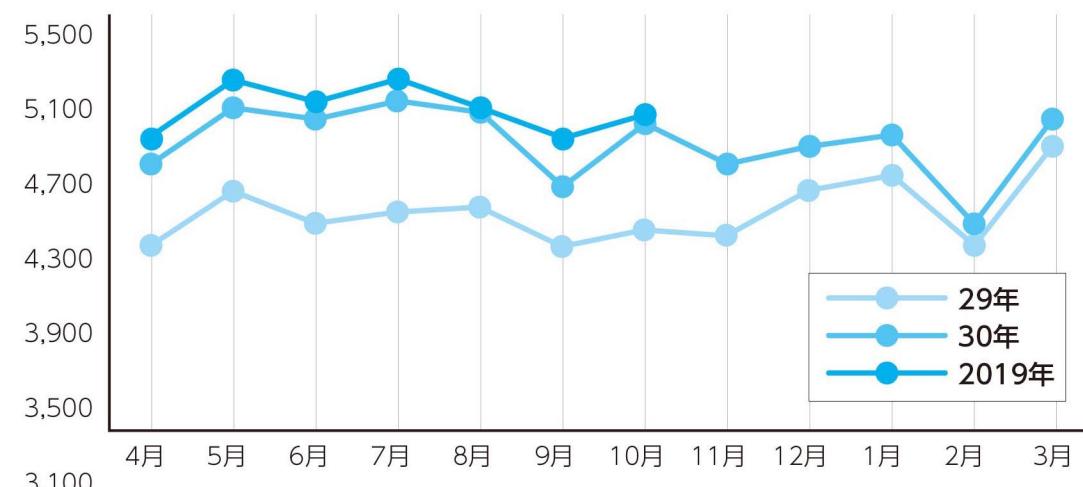
原山 秋子（内部監査士）

遠藤 正明（審査課長）





生乳生産状況表



ホクレン十勝家畜市場だより

乳牛

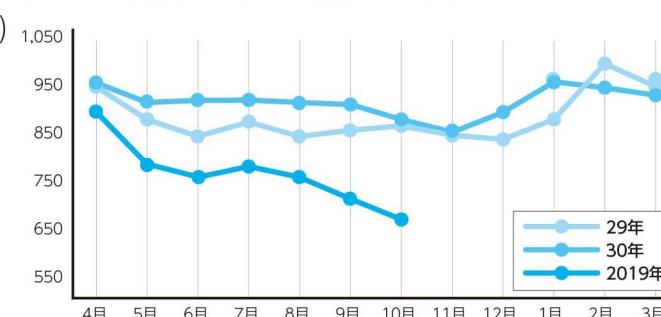
●売買頭数: 713頭 (成立62.0%)

●平均価格(税込): 669千円 (先月比↓43、前年比↓202)

相場予想

先月は、上場頭数の増加、府県の購買意欲の低下から平均価格は、弱含みで推移しました。今月は冬分娩に対する導入需要の増加は見込まれますが、依然として上場頭数が増加傾向にあるため、平均価格は横ばいあるいは弱含みで推移すると考えられます。

乳牛市場〈初妊牛〉平均価格の推移



黒毛和種・F1

結果速報

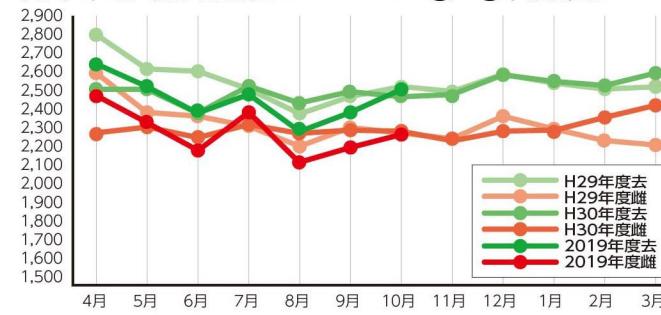
●売買頭数

黒毛和種去勢 **972頭** (成立94.4%)
 乳用交雑種去勢 **894頭** (成立88.9%)
 黒毛和種雌 **655頭** (成立92.1%)
 乳用交雑種雌 **1,117頭** (成立94.6%)

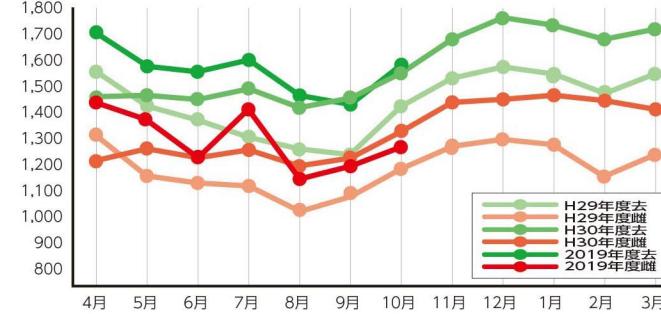
●kg単価

黒毛和種去勢 **2,489円** (先月比↑105)
 乳用交雑種去勢 **1,556円** (先月比↑138)
 黒毛和種雌 **2,321円** (先月比↑83)
 乳用交雑種雌 **1,259円** (先月比↑70)

肉牛市場〈黒毛和種251-300kg〉kg単価推移



肉牛市場〈F1〉kg単価推移



今日から始める農場のチェックリスト No. 6

安全な農作業のために確認しましょう!

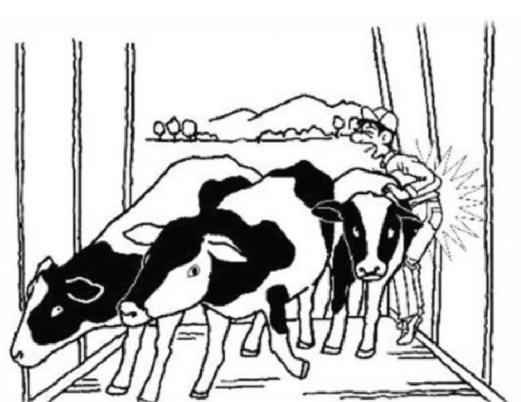
家畜による農作業事故は年々増加しています。特に搾乳作業と移動作業時の事故が多いのが現状です。以下のことを確認して、**安全第一**で作業を進めましょう。

搾乳事故への対策



- 牛の間に入るときは声をかける
- ゆっくり動く
- 大声を出したり走り回らない
- 甲高い声は出さない
- 搾乳する前から乳房に触れる
- ことに馴らす
- 安全靴や安全長靴の使用

移動時の事故への対策



- 牛舎内は明るく整理整頓されている
- 床に滑り止め資材（石灰など）を散布する
- 出っ張りや段差を無くす



根室農業改良普及センターより、**安全な職場環境**を実践している農場は、**生産性が高い**ことが報告されています。

当地域でも、人にも牛にも優しい環境でさらなる生産性UPに取り組んでいきましょう！